



まつど 生涯学習大学講座 開講式

市民劇場ホール 平成25年5月23日

《趣旨》

わが国では、今日、他国では見られない速さで超高齢化社会が進行しています。それは、私たちがこれまで経験や予測もしなかった、人権、福祉、医療など、さまざまな問題を提起しています。

このような時代にあっては、それぞれが自らの生活課題に即した学習が不可欠と言えます。

とりわけ熟年の方々には、自らが住む地域社会をよりよいものにしていく主体的役割が求められています。そうした役割を果たすためにも、不断の学習が肝要と思われれます。

まつど生涯学習大学では、これらについての学習を深めながら、受講生の皆さんが地域社会の中で行動する主体になることを目的として開設しています。

開講式では、本郷谷松戸市長の挨拶、開催趣旨説明のあと、NPO法人「シニア大楽」副理事長 藤井敬三氏による、「良好なコミュニケーションを作るために～暮らしにもっと笑いを」と題した基調講演が行われました。



○楽しめば脳は若返る

- ・ 歳をとっても脳細胞は増えている
- ・ 「ド忘れ」はトシのせいではない
- ・ 楽しい情報は記憶に残る

○ユーモア人間になるには

- ・ すすんで挨拶
- ・ 心のこもった「ほめ言葉」を
⇒美点を探そう
- ・ 駄じゃれのすすめ
⇒ユーモアこそサービス精神
- ・ 冗談、ほら吹きのおすすめ
⇒生活の潤滑油
- ・ ユーモアスピーチのすすめ
⇒自己(事故)笑介：失敗談が楽しい
- ・ 川柳を楽しむ
⇒傑作を覚える、心のつぶやき
- ・ 笑いのネタをさがそう
⇒テレビ、落語、電車の中 …
- ・ 笑顔をつくる

等々、参考になるお話がいっぱいでした。